

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|----------|------|-------|----------|-------|
| 学校名 | 呉市立仁方小学校 | 校長氏名 | 西田 洋子 | 生徒指導主事氏名 | 玉田 文男 |
|-----|----------|------|-------|----------|-------|

取組事例名 『縦割り班顔合わせ会』

取組のねらい『キーワード：リーダー育成』

- ア 「縦割り班顔合わせ会」を実施し、1年間の縦割り班のスタートをスムーズにすることで、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
- イ 「縦割り班顔合わせ会」の中で、防災の歌を歌ったり、防災カルタをしたりすることで、学級活動の内容である「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」と関連を図りながら、防災意識を高める。

取組の具体的内容『キーワード：リーダーとの顔合わせ』

- 1 日時 日曜参観日の学級懇談会の時間
- 2 指導者 学級担任以外の職員が指導（担任は学級懇談会に参加）
- 3 進行 児童委員会
※6年生がリーダーとなるスタートの活動となるので、職員が巡回して助言した。
- 4 内容
 - ①始めの言葉
 - ②1年生お迎えの言葉
 - ③1年生のお迎え（1年生を縦割り班に招き入れる）
 - ④自己紹介
 - ⑤防災の歌（3年前に「夢配達人プロジェクト」において、仁方の地名が入った防災カルタを作りたい、歌も作り広めたいと言う願いが当選し、作成したもの）
 - ⑥防災カルタ
 - ⑦中学校校歌（小中合同運動会で中学校校歌も斉唱するため）
 - ⑧先生のお話
 - ⑨終わりの言葉



④自己紹介
リーダーから、学年と名前を発表していく。



⑥防災カルタ
各班1つずつ防災カルタをもち、リーダーが読み手となって始めている。

取組の課題・創意工夫『キーワード：所属意識の向上』

- 自己紹介の他に、防災の歌、防災カルタ、仁方中学校校歌を歌うことで、仁方地域への所属意識を高めている。
 - ・防災の歌、防災カルタは、防災意識を高めるために行っている。この日までに各学級でも防災の歌を練習している。この歌やカルタの中には、仁方地域の地名などが入り、地域のことをよりくわしく知ることにもつながっている。
 - ・仁方中学校校歌については、3週間後に小中合同運動会で歌う必要があり、この日に全校で初めて全体練習をすることができた。

取組の成果（効果）『キーワード：自己肯定感，自己有用感の向上』

○ 「縦割り班顔合わせ会」を行うことによって，6年生がリーダーとしての自覚を持ち，その後の縦割り掃除をスムーズに開始することができた。縦割り班活動を通して，低学年が高学年を目標としたり，感謝の気持ちをもったりし，高学年は低学年に優しく接することができている。また，高学年は低学年に慕われることで，自己肯定感や自己有用感が向上してきている。

【縦割り班掃除の内容】

ア 週4回実施し，掃除場所は，2ヶ月に1度替わる。

イ 縦割り掃除の1回目に，6年生がリーダーとなって，掃除場所の確認と，自分が何を分担するか話し合う。

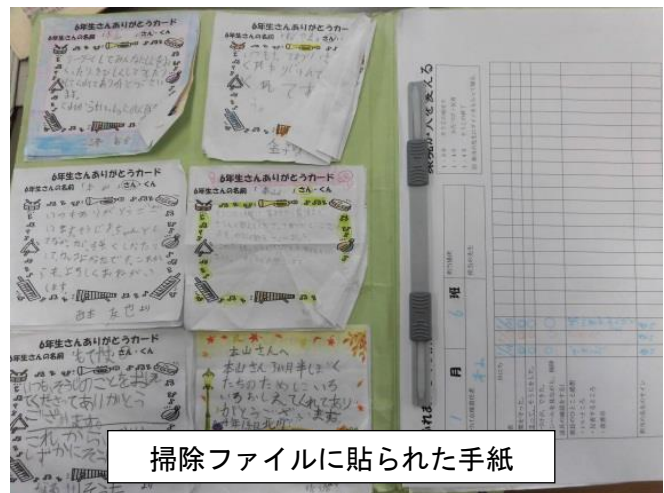
ウ 集合→リーダーが班員を確認して掃除開始（約10分間）→片付け→集合して反省

【縦割り班掃除のポイント】

ア 6年生がリーダーとして，時間の流れに沿って声をかけたり，下級生に掃除の仕方を教えたりしている。

イ 掃除の反省をする時に，リーダーが本日の掃除の評価をする。がんばっているところを評価していくように，最初の2週間は先生ががんばっているところを評価して，リーダーにお手本を示し，指導している。この評価の場を設定することで，6年生はリーダーとして班全体に目を向け，良さを褒め班も互いに認め合うようになってきた。

ウ 縦割り班の掃除場所を変更する2ヶ月毎に，班員が6年生に対し，感謝の気持ちをこめてお礼の手紙を書いている。6年生はうれしそうに手紙をもらい，中には掃除ファイルに貼り付けている児童もいる。この毎日の掃除の他に，学期2回は朝会や学校行事で縦割り班で遊ぶ異学年交流を行っている。



掃除ファイルに貼られた手紙

【下級生から6年生への手紙の内容】

いつもそうじのことをおしえてくださってありがとうございます。これから，ぼくは，しずかにそうじをします。

たてわりそうじのとき，いつも，やさしくおしえてくれて，ありがとうございます。

今後の展開『キーワード：リーダーの引き継ぎ』

ア 縦割り班でのその後の活動

→児童朝会（月1回），「わくわくオリエンテーリング」（6月：特別教室や体育館で委員会毎にクイズやゲームを企画運営し，縦割り班で体験してまわる活動），「ドッジビー集会」（10月：ドッジボールを柔らかいフリスビーに代えて行う）

イ 「6年生ありがとう集会」（3月）

→お世話になった縦割り班の6年生に感謝の言葉を発表したり，縦割り班の6年生に感謝のコメントを書いてプレゼントしたりする。

→今まで6年生がしてきた学校の仕事（交通安全推進隊：学期始めに正門であいさつ運動をする。縦割り班掃除のリーダー）を5年生に引き継ぐ簡単な式も行う。

ウ 「6年生ありがとう集会」の次の日から，卒業式までは，集団登校，次年度の委員会の仕事（次年度の委員会は3月に決定），縦割り班掃除は，次年度の最高学年となる5年生へ引き継ぐ。委員会活動では，毎日の当番活動に6年生が1人入り，やり方を教え，新5・6年は，次年度の委員会の当番活動を開始する。また，集団登校や縦割り班掃除などでも，リーダーとしてどのようにしていけばよいか教えていく。

他校へのアドバイス『キーワード：縦割り班掃除』

異学年交流は，上の学年は自己有用感や自尊感情の向上，下の学年は高学年を目標とすることができたり，感謝の気持ちをもつことができたりして有効な手段である。縦割り掃除を組み入れると，常時，異学年での交流があるのでさらに有効である。